



2023年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月9日
東

上場会社名 株式会社東陽テクニカ 上場取引所
 コード番号 8151 URL <https://www.toyo.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高野 俊也
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 柏 正孝 (TEL) 03-3279-0771
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年9月期第3四半期の連結業績(2022年10月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第3四半期	21,154	11.5	1,143	△34.7	1,362	△35.5	963	△34.1
2022年9月期第3四半期	18,968	4.9	1,750	10.0	2,111	12.3	1,462	△3.1

(注) 包括利益 2023年9月期第3四半期 1,143百万円(△15.2%) 2022年9月期第3四半期 1,348百万円(△0.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第3四半期	42.16	41.93
2022年9月期第3四半期	61.76	61.35

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年9月期第3四半期	39,147	27,845	70.9
2022年9月期	41,592	29,398	70.4

(参考) 自己資本 2023年9月期第3四半期 27,750百万円 2022年9月期 29,262百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	—	20.00	—	30.00	50.00
2023年9月期	—	22.00	—	—	—
2023年9月期(予想)	—	—	—	32.00	54.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年9月期の連結業績予想(2022年10月1日～2023年9月30日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,500	11.4	2,600	11.5	2,900	4.4	2,000	4.2	87.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年9月期3Q	26,085,000株	2022年9月期	26,085,000株
② 期末自己株式数	2023年9月期3Q	3,733,732株	2022年9月期	2,673,622株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年9月期3Q	22,857,568株	2022年9月期3Q	23,675,547株

※ 四半期決算短信は公認会計士または監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	11
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当期は中期経営計画“TY2024”(2024年9月期経営目標：売上高300億円、営業利益35億円、ROE8.0%)の2年目となります。中期経営計画の達成に向け、成長戦略を推進しております。

当第3四半期連結累計期間の連結売上高は211億5千4百万円(前年同四半期比11.5%増)となりました。カーボンニュートラル分野における企業の投資において活発な状況が続いており、物性/エネルギー事業を中心に堅調に売上高を伸ばしました。一方、利益面におきましては、第2四半期に影響していた為替の変動による売上総利益率の低下が当第3四半期の半ばまで影響したこと、戦略的に低利益率で受注をした中国国家機関向け大型案件を売上計上したこと、また成長戦略のための人材の先行投資や活発化している営業活動などによる販売費及び一般管理費が想定より増加したことにより営業利益11億4千3百万円(前年同四半期比34.7%減)、経常利益13億6千2百万円(前年同四半期比35.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益9億6千3百万円(前年同四半期比34.1%減)となりました。

受注については、カーボンニュートラル分野や自動運転開発分野などで伸びた結果、受注高は232億8千8百万円(前年同四半期比1.4%増)、受注残高が176億8千1百万円(前年同四半期比11.9%増)となりました。

また、当社グループは経営管理区分及び社内組織の見直しを行ったことに伴い、第1四半期連結会計期間より事業セグメント「ライフサイエンス/マテリアルズ」を「ライフサイエンス」に名称変更し、マテリアルサイエンス(材料評価)分野の製品ラインを事業活動にシナジーが見込まれる「物性/エネルギー」に移管しております。なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントの区分方法により作成しており、以下の前年同四半期比については、変更後のセグメント区分方法に組み替えた数値で比較しております。

事業セグメントごとの業績は、次のとおりです。

(情報通信/情報セキュリティ)

情報通信/情報セキュリティ事業におきましては、通信事業者における5G商用サービス向けの試験や、企業のDX化推進に伴う通信品質試験の計測ソリューション、およびサービスプロバイダ向け情報セキュリティ製品の販売は前期並みに推移いたしましたが、いくつかの案件において顧客の設備導入スケジュールの変更による納入遅延が発生したため売上高が減少いたしました。また売上高減少に加え、セキュリティ分野における利益率の高いエンタープライズ製品の売上が縮小し、サービスプロバイダ向けの低利益率の大型案件が発生したことにより、セグメント利益につきましても減少いたしました。この結果、売上高は50億1百万円(前年同四半期比5.4%減)、セグメント利益は1億6千1百万円(前年同四半期比75.8%減)となりました。

(機械制御/振動騒音)

機械制御/振動騒音事業におきましては、CASEの電動化分野におけるモータートルク計測装置の販売が堅調に推移し、また振動騒音分野における企業の研究開発投資に関する販売が前期並みに推移しました。しかし、米国でのAD/ADAS開発向け大型案件の売上が客先都合で第4四半期に遅延し、売上高は微増となりました。為替変動の影響で第2四半期に低下した売上総利益率は改善していますが、当第3四半期は段階的であったためセグメント利益が減少しました。この結果、売上高は34億4千万円(前年同四半期比3.1%増)、セグメント利益は2億7千7百万円(前年同四半期比46.9%減)となりました。

(物性/エネルギー)

物性/エネルギー事業におきましては、引き続きカーボンニュートラル分野における企業の研究開発投資が活況で、全固体電池や燃料電池向けの自社開発製品や電気化学測定装置の販売が順調に推移したことにより、売上高が増加しました。売上高の増加に伴い、セグメント利益も大幅に増加しました。また、当期に移管した材料評価分野の事業も順調に立ち上がっています。この結果、売上高は51億8千2百万円(前年同四半期比15.8%増)、セグメント利益は12億2千7百万円(前年同四半期比24.9%増)となりました。

(EMC／大型アンテナ)

EMC／大型アンテナ事業におきましては、国内および中国市場においてEMC分野のビジネスで積み上がっていた受注残の納入が進み、売上高は大幅に増加しました。セグメント利益につきましては、国内においては堅調な売上総利益率となりましたが、中国において国家機関向け低利益の大型案件を売り上げたため、前年同期比では増加しているものの、第2四半期からは減少しております。この結果、売上高は43億5千2百万円（前年同四半期比62.7%増）、セグメント利益は2億4千1百万円（前年同四半期比738.9%増）となりました。

(海洋／特機)

海洋／特機事業におきましては、市場は回復傾向にあるものの、特機分野については、前期大型案件に相当する案件がありませんでした。海洋分野においては、半導体不足で受注中止になった主要製品の代替えとして新製品の立ち上げに時間を要していましたが、既に製品をリリースして販売活動を開始しております。しかし、業績への貢献は第4四半期以降になるため、売上高が減少しました。また、為替変動前に提案した案件で顧客の予算制限により価格転嫁ができなかった案件があり、これに伴いセグメント利益も減少しました。この結果、売上高は11億3千3百万円（前年同四半期比20.8%減）、セグメント利益は1億2千9百万円（前年同四半期比58.1%減）となりました。

(ソフトウェア開発支援)

ソフトウェア開発支援事業におきましては、引き続き、ゲーム関連ビジネスが堅調に推移し、売上高が増加しました。売上高の増加、及び為替の変動を考慮した価格改定により、セグメント利益においても増加しました。この結果、売上高は14億8千8百万円（前年同四半期比10.5%増）、セグメント利益は3億1千万円（前年同四半期比8.9%増）となりました。

(ライフサイエンス)

ライフサイエンス事業におきましては、医療機関の設備投資は緩やかに回復基調で整形外科デジタルプランニングツールの販売が堅調に推移いたしました。また当第3四半期からレキシー社が連結対象となったことにより売上高が増加しました。一方、セグメント利益は、前年同期比では大幅に増加しているものの、当第3四半期においては一時的に低利益率の案件を売り上げたため、第2四半期からは減少しております。この結果、売上高は5億5千6百万円（前年同四半期比33.0%増）、セグメント利益は4千万円（前年同四半期比86.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ24億4千5百万円減少し、391億4千7百万円となりました。主な増加要因は、商品及び製品の増加10億2千3百万円です。一方、主な減少要因は、投資有価証券の減少12億8千4百万円、受取手形、売掛金及び契約資産の減少11億1千万円、有価証券の減少10億1千9百万円です。

負債は、前連結会計年度末に比べ8億9千2百万円減少し、113億2百万円となりました。主な増加要因は、流動負債のその他の増加4億3千9百万円です。一方、主な減少要因は、契約負債の減少4億6千6百万円、賞与引当金の減少4億2百万円、支払手形及び買掛金の減少3億7千7百万円です。

純資産は、前連結会計年度末に比べ15億5千2百万円減少し、278億4千5百万円となりました。主な増加要因は、その他有価証券評価差額金の増加1億3千5百万円です。一方、主な減少要因は、自己株式の増加14億5千1百万円、利益剰余金の減少2億3千9百万円です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年9月期の連結業績予想については、受注が堅調に推移しており、第4四半期連結会計期間には高利益率の大型案件の売上を予定していることから、2023年5月10日に公表いたしました予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,787,571	3,447,039
受取手形、売掛金及び契約資産	4,774,545	3,664,110
有価証券	2,436,363	1,416,741
商品及び製品	3,116,224	4,139,921
その他	2,932,968	2,884,018
貸倒引当金	△500	△1,800
流動資産合計	17,047,173	15,550,031
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,752,491	5,797,085
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,100,904	△3,173,757
建物及び構築物(純額)	2,651,587	2,623,327
車両運搬具	59,711	10,936
減価償却累計額	△48,918	△6,195
車両運搬具(純額)	10,793	4,740
工具、器具及び備品	3,929,798	4,254,820
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,302,460	△3,462,785
工具、器具及び備品(純額)	627,338	792,035
土地	11,507,790	11,521,496
建設仮勘定	194,897	391,037
有形固定資産合計	14,992,407	15,332,637
無形固定資産		
のれん	93,370	277,950
ソフトウェア	539,146	671,863
ソフトウェア仮勘定	217,913	201,069
その他	97,740	78,836
無形固定資産合計	948,172	1,229,721
投資その他の資産		
投資有価証券	6,005,615	4,721,559
退職給付に係る資産	598,576	607,432
繰延税金資産	803,891	566,512
長期預金	700,000	700,000
その他	529,511	473,172
貸倒引当金	△32,435	△33,526
投資その他の資産合計	8,605,159	7,035,149
固定資産合計	24,545,739	23,597,508
資産合計	41,592,913	39,147,539

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,768,756	1,391,731
未払法人税等	153,902	78,438
契約負債	3,941,225	3,474,404
前受金	—	4,060,080
賞与引当金	832,027	430,000
役員賞与引当金	73,000	54,750
その他	575,212	1,014,506
流動負債合計	7,344,124	10,503,911
固定負債		
退職給付に係る負債	654,627	659,884
長期前受金	4,060,080	—
その他	135,696	138,299
固定負債合計	4,850,403	798,184
負債合計	12,194,528	11,302,095
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,158,000	4,158,000
資本剰余金	4,603,500	4,603,500
利益剰余金	23,664,469	23,424,882
自己株式	△3,044,970	△4,495,992
株主資本合計	29,380,999	27,690,390
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△30,177	105,777
繰延ヘッジ損益	79,600	88,118
為替換算調整勘定	△121,509	△121,743
退職給付に係る調整累計額	△46,714	△11,678
その他の包括利益累計額合計	△118,800	60,473
新株予約権	136,186	94,580
純資産合計	29,398,384	27,845,444
負債純資産合計	41,592,913	39,147,539

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)
売上高	18,968,538	21,154,284
売上原価	10,528,049	12,571,683
売上総利益	8,440,489	8,582,600
販売費及び一般管理費	6,689,950	7,439,506
営業利益	1,750,539	1,143,094
営業外収益		
受取利息	65,959	67,680
受取配当金	38,661	29,245
持分法による投資利益	—	4,014
為替差益	222,967	49,201
和解金	—	118,845
その他	47,469	58,026
営業外収益合計	375,057	327,012
営業外費用		
支払利息	679	379
自己株式取得費用	—	33,063
投資事業組合運用損	—	71,735
持分法による投資損失	12,280	—
その他	660	2,715
営業外費用合計	13,620	107,894
経常利益	2,111,975	1,362,211
特別利益		
固定資産売却益	24,787	19,774
投資有価証券売却益	—	70,789
特別利益合計	24,787	90,564
特別損失		
固定資産処分損	968	858
特別損失合計	968	858
税金等調整前四半期純利益	2,135,794	1,451,917
法人税、住民税及び事業税	217,048	321,245
法人税等調整額	456,430	166,884
法人税等合計	673,479	488,130
四半期純利益	1,462,315	963,787
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,462,315	963,787

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	1,462,315	963,787
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△149,180	135,954
繰延ヘッジ損益	86,456	8,518
為替換算調整勘定	△32,466	△28,236
退職給付に係る調整額	△24,070	35,036
持分法適用会社に対する持分相当額	5,390	28,002
その他の包括利益合計	△113,869	179,274
四半期包括利益	1,348,446	1,143,062
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,348,446	1,143,062
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年8月10日開催の取締役会の決議に基づき、2022年10月3日から2023年6月15日にかけて、市場買付により当社普通株式1,210,400株を総額1,627,594千円にて取得しております。

なお、当該決議に基づく自己株式の取得は、2023年6月15日約定分をもって終了しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			
	情報通信/ 情報セキュリティ	機械制御/ 振動騒音	物性/エネルギー	EMC/ 大型アンテナ
売上高				
一時点で移転される財またはサービス	4,215,681	3,089,476	4,456,319	2,511,523
一定期間にわたり移転される財またはサービス	1,071,954	246,190	17,415	164,223
顧客との契約から生じる収益	5,287,636	3,335,667	4,473,734	2,675,746
売上高	5,287,636	3,335,667	4,473,734	2,675,746
セグメント利益	668,789	522,176	982,396	28,809

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	海洋/特機	ソフトウェア 開発支援	ライフサイエンス	
売上高				
一時点で移転される財またはサービス	1,302,746	723,974	325,749	16,625,472
一定期間にわたり移転される財またはサービス	128,074	622,665	92,542	2,343,066
顧客との契約から生じる収益	1,430,821	1,346,639	418,291	18,968,538
売上高	1,430,821	1,346,639	418,291	18,968,538
セグメント利益	309,171	285,163	21,724	2,818,231

2. 報告セグメントの利益または損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,818,231
全社費用(注)	△1,067,692
四半期連結損益計算書の営業利益	1,750,539

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない営業費用のほか、引当金の計上方法による差異等が含まれています。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			
	情報通信/ 情報セキュリティ	機械制御/ 振動騒音	物性/エネルギー	EMC/ 大型アンテナ
売上高				
一時点で移転される財またはサービス	3,704,202	3,100,841	5,174,425	4,212,317
一定期間にわたり移転される財またはサービス	1,296,964	339,417	7,585	140,041
顧客との契約から生じる収益	5,001,166	3,440,259	5,182,011	4,352,359
その他の収益(注)	—	—	511	—
売上高	5,001,166	3,440,259	5,182,522	4,352,359
セグメント利益	161,782	277,133	1,227,412	241,680

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	海洋/特機	ソフトウェア 開発支援	ライフサイエンス	
売上高				
一時点で移転される財またはサービス	980,131	749,399	452,713	18,374,033
一定期間にわたり移転される財またはサービス	153,016	738,938	103,775	2,779,740
顧客との契約から生じる収益	1,133,148	1,488,337	556,489	21,153,773
その他の収益(注)	—	—	—	511
売上高	1,133,148	1,488,337	556,489	21,154,284
セグメント利益	129,522	310,469	40,415	2,388,416

(注) 「その他の収益」は、リースに係る収益等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益または損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,388,416
全社費用(注)	△1,245,322
四半期連結損益計算書の営業利益	1,143,094

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない営業費用のほか、引当金の計上方法による差異等が含まれております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは経営管理区分及び社内組織の見直しを行ったことに伴い、第1四半期連結会計期間より「ライフサイエンス/マテリアルズ」を「ライフサイエンス」に名称変更し、マテリアルサイエンス(材料評価)分野の製品ラインを「ライフサイエンス」から、事業領域が近く、シナジーが見込まれる「物性/エネルギー」に移管しております。なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントの区分方法により作成しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりです。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。